初級者のためのTOEIC対策講座 II

科目ナンバリング　ENG-104
選択　2単位

吉田　浩二

1. 授業の概要（ねらい）

この授業ではTOEIC受験に向けた試験対策を行います。対象は現在350～400点レベル、英検準2級1次試験合格程度の学生を想定しています。『対策講座Ⅰ』で比較的軽い扱いに留めた難易度の高い問題に挑戦しますが、主に以下の取り組みによって、正解率アップをめざします。PART3&4（会話やスピーチの内容把握）においては、解答に必要な情報のみに集中する。PART6&7（長文問題・図表の読解など）においては、大意の把握を優先する速読に慣れ、情報を素早く探し出すコツをつかむ。学期末には、450～500点レベルに到達することをめざしています。

2. 授業の到達目標

リスニング部門
①PART1（短文の聞き取り）→基本単語を正確に書き取ることができ、60～80%程度得点できる。
②PART2（典型的な質問→応答パターン）→場面に応じた定型表現に慣れ、60～80%程度得点できる。
③PART3&4（会話やスピーチの内容把握）→必要な情報のみに集中することで、30～40%程度得点できる。
リーディング部門
④PART5（文法・語彙問題）→基本事項を理解し、60～80%程度得点できる。
⑤PART6&7（長文問題・図表の読解など）→大意の把握を優先する速読に慣れ、必要な情報を探し出すコツをつかむことで、30～40%程度得点できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験100%で評価します。合格基準は概ね40～50点の見込みですが、期末試験の得点分布を考慮の上、決定します。参考までに、2018年度受講者の単位修得率は約70%、19年度は約74%、20年度は約81%、21年度は約83%でした。

4. 教科書・参考文献

教科書
北尾靖幸他　『一歩上を目指すTOEIC Listening and Reading Test: Level 2 –Intermediate–』　朝日出版社

5. 準備学修の内容

前期の授業と同様、予め問題を解いてあることを前提にポイント解説を行います。やはり、復習を重視してください。リスニングについては、自信を持って「聞き取れた」と思えるまで、リーディングについては、基本単語の意味用法を確実に覚えられるまで、念入りに行いましょう。長文については、完全に意味を理解するよりも、大意を把握しながら速読できるようになることが大切です。

6. その他履修上の注意事項

受講希望者多数の場合、適正な授業環境確保のため、人数制限（＝100名程度）する可能性があります。過去に、私が担当したこの科目を履修したものの不合格となった上級生は、定員に余裕がある場合のみ再登録を許可します。

この授業は、「自己啓発」の一環として開講されている科目です。他人の勉学の邪魔をするような非常識な学生は言語道断ですし、努力が嫌いな人もお断りします。授業中の私語等についても、厳しく対処します（→受験資格剥奪、不合格判定）。

7. 授業内容

【第1回】　Guidance、前期の復習
【第2回】　Unit 1 : Eating Out　文法：動詞（1）
【第3回】　Unit 2 : Travel　文法：動詞（2）
【第4回】　Unit 3 : Amusement　文法：品詞
＊金曜5時限のクラスは、この課がLMSを用いた補講になります。具体的な日程は、初回授業時に説明します。
【第5回】　Unit 4 : Meetings　文法：分詞
【第6回】　Unit 5 : Personnel　文法：不定詞と動名詞（1）
【第7回】　Unit 6 : Shopping　文法：不定詞と動名詞（2）
【第8回】　Unit 7 : Advertisement　文法：仮定法
【第9回】　Unit 8 : Daily Life　文法：受動態
【第10回】　Unit 9 : Office Work　文法：代名詞
【第11回】　Unit 10 : Business　文法：数量詞
【第12回】　Unit 11 : Traffic　文法：接続詞
【第13回】　Unit 12 : Finance and Banking　文法：前置詞
【第14回】　Unit 13 : Media　文法：語彙
＊火曜5時限のクラスは、この課がLMSを用いた補講になります。具体的な日程は、初回授業時に説明します。
【第15回】　まとめと期末試験
＊学事日程上は、⑭週目の授業（＝1月6日または10日の授業）に相当します。